

# たぐろ

兵庫の漁業人のための情報誌

TAKUSUI  
No. 700

2

February.2015

発行 (一財)兵庫県水産振興基金



だるま夕日 (明石市)

## 淡路のり品評会 開催 海の子作品展 受賞者決定

《今月の海上安全標語》～ 冷静に行動しましょう!～

ライフジャケットは必需品!もし着用していないときに落ちてしまったら、何でも良いので浮くものを見つけて下さい。空気を入れた長靴を逆さまにして持つのも有効な手段です。

**落ち着いて! 周りにもあるかも 浮く力** では、今月も安全操業で!

# ようこそ

「ようこそ」とは航海用語で「宜しく候」の意。  
主に船を直進させるときに号令として使われる。

## 気がつけば三十五年…… 兵庫県内海漁船保険組合 引受部長 北川 尚敏



勤続35年。良い機会なので、少しだけ新人の時の話を振り返ってみようと思います。

昭和54年9月1日、残暑の中、兵庫県庁第3庁舎1階（現在の兵庫県公館と同じ外壁の建物）の兵庫県内海漁船保険組合の事務所に初出勤。当時の専務は浅井政治、岡本参事、総務に沢辺はじめ計11名。

仕事は引受係。新人は、机拭き、ごみ集め。でも、常に先輩が手伝ってくれた記憶がある。コピー機がないのでガリ版にてひたすら加入申込書やその他の関係書類を刷る。最初は楽しかったが、毎日ではだんだん飽きてくる。その内苦痛に変わる。引受の大変さはここから。前年度の加入申込書を見ながら、漁協の更新日ごとに内容を写す。写したものを読み合わせ。広島さんの「広」と「廣」とか、山崎さんの「崎」と「崎」とか。氏名ということで一文字一句間違えてはいけなと言われ、ひたすら先輩と声を張り上げる。のど飴は欠かせない。当たり前のことだが厳しかった。読み合わせが終わると船齢、機齢の算出、料率表をみて記入していく。ここから第二段階。もつと大変。

実は事務所に電卓はなかったので、そろばんで計算。浅井専務・岡本参事の席に真空管の計算機たるものが2台あっただけ。よって、仕事が終わってから小学生と一緒にそろばん通い。第一声「おっちゃん。何しに来たん」「おっちゃんちやうわ。お兄ちゃん言え」と言ったものの、小学生は見取り算、見取り暗算スラスラ。そろばん塾小学生凄。応用問題だけは答えがすぐ分かる。但し、そろばんをはじかなければ：勝った（心の中で）。なんとか、小学生と一緒に試験会場に行き3級まで取得。今思えば頑張ったと思う。話を元に戻すと、全ての加入申込書の計算をそろばんで行う。先輩が検算。組合員合計をそろばんで入れ一覧表にしてやつと発送となる。これに変更・承継・還付と毎月の漁協への更新作業の繰り返し。

今思えば考えられない時間の浪費だと思いが、人とのコミュニケーションあり、味わいのある思い出の時間と言えと思っています。「10年務めてやつと一人前と認められる。だから頑張れよ。」と言われたことを思い出す。最初は「覚えること」「やること」がたくさんあり、がむしゃらに目の前の事を「こなしていく」のが精一杯でした。

気がつけば35年。今は電卓、コピー機、パソコン等、ハイテク時代とともに、取り組む環境も変わり、毎年の目標を決め、「こなしていく」から「充実」をどう自分でつくるか、どう自分で動き実感するかになり、それが大事であると思っています。人に言われてでなく、自ら目的をつくり、あえて困難に挑戦して、努力を続けていく。その中で自分自身の「能力」も「人格」も大きく開花していくと思っています。そのためには、知恵をしばって取り組む必要があると思います。また、失敗したり、生き詰まるのが当然出てきます。その時は、どんなことがあっても「くさらない」「おちこまない」「焦らない」「決してあきらめない」と常にプラス思考で、次にどんな手を打とうか楽しみに考えながら、長い目で加入推進をしていこうと思います。決して一人ではできません。平成26年度、PB責任保険引受隻数10年連続日本一の達成。平成29年4月、漁船保険全国一元化に向けて、一丸となって取り組んでいくことが大事だと思います。

これからの何事にも自助努力を怠らず頑張ってください。

## CONTENTS

No.700 February, 2015

- 2 ようそろ
- 3 シンガポールに「JF KANDA WADATSUMI」がOPEN 「お魚かたりべ」の任命状授与
- 4 第18回 「山田記念賞」表彰式・祝賀会 開催
- 5 第39回 淡路のり品評会 開催
- 6 第52回 淡路農林水産祭 開催
- 7 洲本市五色町でのかいぼり  
明石市二見町でのかいぼり
- 8 映画「種まく旅人 くにうみの郷」が完成
- 9 3大学との消費流通検討交流会を開催  
今月の LOVE SEA 丼
- 10 JF全漁連 水産多面的機能発揮対策報告会開く  
平成27年度 兵庫県漁村子弟育英生募集
- 11 平成26年度「ひょうご海の子作品展」作文部門 受賞者決定
- 12 税務署からのお知らせ
- 13 海技大学校で安全講習会  
海難事故をなくそう
- 14 兵庫JCC通信
- 15 旬に想う  
大輪田塾だより
- 16 平成26年度「ひょうご海の子作品展」絵画部門 受賞者決定



### 表紙の言葉

### 「だるま夕日」(明石市)

(写真提供：JF兵庫漁連 津田 英幸氏)

大気と海水温との温度差が大きく、冷え込みの厳しい冬の晴れた日の朝夕に見られる「だるま太陽」。

それぞれ「だるま朝日」、「だるま夕日」と呼ばれ、海外ではオメガサンとして知られます。条件に合う天候の日には、多くのカメラマンが撮影スポットに詰めかけ、シャッターチャンス待つ姿が見られます。

写真は、明石市江井ヶ島漁港から海に沈む夕日を迎えたいものです。遠くに見える漁船やノリ網のブイ、灯台、人影が、瀬戸内海の冬の神秘的な光景を一層引き立たせています。

兵庫の漁業人のための情報誌「拓水」はお陰さまで700号を迎えました。

## シンガポールに「JF KANDA WADATSUMI」がOPEN!

～国産魚の情報発信・輸出拡大を目指す～

(写真提供：JF全漁連)

JF全漁連(岸宏会長)はシンガポールに海外初のアンテナショップ「JF KANDA WADATSUMI」(以下、ワダツミ)を1月23日(金)にオープンさせ、現地の法人関係者や在留邦人、日本からの参加者約140名が開店を祝いました。ワダツミは、①JFグループが直接、海外の消費者と接点を持ち、国産水産物の価値をPRする。②海外の消費情報を直接収集し、会員に提供する。③輸出時における物流・保管・配送等のノウハウの蓄積を通じ、輸出増大と魚価向上に資する目的で、東南アジアの物流・金融取引の盛んなシンガポールに、国産水産物の情報発信と輸出拠点として開設されました。場所はシンガポール中心部の駅に近く、昼・夕方はサラリーマンで賑わう立地で注目度も高く、開店前から問い合わせも多いとのこと。オープンングセレモニーでは来賓挨拶や鏡開きが行われた後、日本から空輸されたマグロ、ブリ、シマアジなどが会場に振舞われ、寿司の実演は参加者の注目の的となりました。また、(一社)全国海水産物協会(嶋野 勝路会長)は、同日のセレモニーに先立ち、ワダツミで魚食と健康をテーマにした「日本養殖魚セミナー」を行ったほか、別の会場で「日本鮮魚祭り」も開催し、マダイ、ブリのほかトラブリなどの養殖魚を紹介しPRなどを行いました。

JF兵庫漁連 流通加工部では、今回のオープンに合わせ、マダコ・イカナゴを送り、今後も新たな食材の提供・提案をしていくとことです。



JFグループの海外進出の足掛かりとして期待されます  
(写真提供：JF全漁連)



関係者による鏡開き  
(写真提供：JF全漁連)

【お魚かたりべ】  
森武美、本多春代、米谷ちよの、田中久善、山崎清張、※播磨孝次、※前田若男、※中村則子、※高山淳子、※山中悦子、※宮部博行、※西本広幸、※隅谷翠、※戸田美保子、※吉岡千幸、※杉浦真奈美、※川端 寿美香、※森貴子、※福永美枝子、※吉岡弘子(以上、敬称略・順不同)。



水産会館で任命状を授与された皆さん  
(前列：左から川端さん、森貴子さん、福永さん、吉岡弘子さん  
後列：左から隅谷さん、戸田さん、吉岡千幸さん、杉浦さん)

水産庁では、水産物の消費拡大推進することを目的とした「魚の国のしあわせ」プロジェクトを進めています。その一環で、様々な分野で魚食文化の普及・伝承に努めている方々を水産庁長官が「お魚かたりべ」として任命し、魚食に関する情報発信を後押しする取組みが行われており、1月末現在、全国で120名が任命されています。

※は今回任命された方  
1月29日(木)には水産会館でJF兵庫漁連(山田 隆義会長) 広報部SEA TICALUB(シートクラブ)の講師と担当職員への任命状授与式が行われ、JF兵庫漁連 山口 徹夫専務から一人ずつに手渡されました。

## 「お魚かたりべ」の任命状授与 JF兵庫漁連シートクラブの講師ら15名

JF兵庫漁連 広報部

## 第18回「山田記念賞」表彰式・祝賀会開催

### (一財)兵庫県水産振興基金

当基金主催による「第18回山田記念賞表彰式ならびに祝賀会」が2月5日(木)神戸市内のホテルで、県・漁協等の関係者ら約80名が集まり開催されました。

「山田記念賞」は、永年にわたり大きな夢と希望を抱いて本県水産業の発展に尽くされた故山田岸松氏を偲び、その功績を記念するため平成3年に創設されたもので、水産業の経営、技術に優れ、多年

にわたり本県水産業の振興に貢献し、その功績が著名な方に贈られる賞です。

本年度受賞者は、

明石市漁協女性部連合会、地道哲也氏(ＪＦ一宮町)、安達岩男氏(ＪＦ但馬)、摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会、室津漁協女性部の2名と3団体で、当基金 井戸敏三会長(兵庫県知事)より受賞者へそれぞれ「天与」と命名された「男女漁業者立像」レリーフを贈呈しました。来賓祝辞で井戸

知事は「受賞された皆様には、それぞれの地域で今後ともさらにご活躍されることを期待します」と祝福され、この日の天気を詠み込んだ「冬あればこそ恵みの海を活かさんと豊かな海を作りゆきな」の歌を贈られました。

式典後の祝賀会では、参会者一同、受賞者の栄誉をお祝いし、終始華やかな雰囲気になりました。



井戸知事から、お一人ずつ手渡されました



【山田記念賞受賞者】(前列左から)

明石市漁協女性部 中村則子会長、地道哲也様、安達岩男様、井戸敏三会長、山田隆義理事長、摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会 大西正起会長、室津漁協女性部 本多春代会長

が、2月3日（火）洲本市の淡路水産センターで開催され、関係者らの審査により優秀品24点が選ばれました。

この品評会は、生産者の意識の向上と生産技術の研鑽を図る目的で毎年開催されており、今回も12月上旬から1月上旬までに、島内で生産された乾のり90点から第一次審査で選ばれた50点を対象に審



## 第39回 淡路のり品評会 開催 （優秀品24点が選ばれました）

（一社）淡路水交会

一般社団法人淡路水交会  
（東根 壽会長）  
JF淡路島岩屋）主催の「第39回淡路のり品評会」

査が行われました。系統団体や県から選ばれた審査員からは、並べられた一つ一つののりを見て「甲乙付けがたい」との声がありました。審査の結果、優秀品24点が選ばれ、最上位の兵庫県知事賞は柳川水産（JF育波浦）が受賞しました。（別表参照）

なお、今回も出品されたのりはすべて味付け加工して、福祉施設等に無料配布されます。



良質の淡路のりが並ぶなか、品質を確認する審査員

### 第39回 淡路のり品評会審査結果表

（敬称略）

賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名	賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名	
兵庫県知事賞	育波浦	柳川水産	柳川 杉雄	兵庫県漁業共済組合長賞	豊津浦	忠庄水産	連 斉樹	
兵庫県議会議長賞	塩田	中野水産	中野 隆次		森	音蔵水産	森 祐三	
兵庫県淡路県民局長賞	森	丸竹水産	畠田 国男		森	丸金水産	森 義政	
兵庫県漁業協同組合連合会長賞	森	利平水産	森 正安	共水連兵庫県事務所長賞	一宮町江井	因 水産	大塚 智数	
兵庫県立農林水産技術総合センター所長賞	森	和四郎水産	森 博司		一宮町江井	二宮水産	二宮 茂嘉	
兵庫県淡路県民局洲本農林水産振興事務所長賞	湊	三共水産	山形和二郎		仮屋	三大水産	村田 治良	
島内市長賞	洲本市長賞	五色町	大橋水産	大橋 盛夫	兵庫県内海漁船保険組合長賞	森	安啓水産	畠出 安啓
	淡路市長賞	森	大草水産	大草 義美		一宮町郡家	寿水産	松本 秀樹
	南あわじ市長賞	南淡	西本水産	西本 雅広		育波浦	柿本水産	柿本 幸久
兵庫県信用漁業協同組合連合会長賞	育波浦	竹昌水産	竹内 和久	社団法人 淡路水交会長賞	森	源吉水産	岡田 桂昌	
	育波浦	桑名水産	桑名 幸充		森	巖水産	森 巖	
	富島	瀬戸内水産	西條 利幸		仮屋	新平水産	相田 和民	

# 第52回 淡路農林水産祭 開催！

## ～伊弉諾神宮にて開催～

(一財)兵庫県水産振興基金



天ぶらや一夜干しが好評だった「由良のじゃこや」



買い物客で賑わう(一社)淡路水交会の売店

表彰式が行われ、漁業関

豊穰豊漁祈願祭」が

料理「ちよぼ汁」が

直売店や露店が立ち

の激しい雨と寒さに

淡路島の農林水産業

1月15日(木)



農林水産功労者表彰の様子(左から地鼻氏、松帆氏)

係者から、地鼻嘉文氏(JF一宮町前参事)、松帆悦子氏(JF淡路島岩屋女性部長)の2名が表彰されました。また、農林水産物コンクールにおける水産加工品



のり部門の表彰の様子(左から:丸金水産 森氏、中野水産 中野氏)

(のり)の部では、丸金水産 森義政氏(JF森)が金賞(知事賞)、中野水産 中野隆次氏が金賞(県議会議長賞)を受賞されました。

# ため池の「かいぼり」で、豊かな海を地域でつくる ～洲本市五色町でのため池・里海交流保全活動～



## 淡路県民局 洲本農林水産振興事務所

いぼりはとても効果があったと感じている。豊かな海を創るためにも、このような取り組みを続けてほしい。」と今後の活動への期待を述べられました。

かいぼりは古くから淡路島でも行われていますが、近年はため池管理者の高齢化や人手不足により作業が困難となっている地域が多くなっています。一方で陸域から海への栄養塩の流入量が減少しているため、淡路県民局では、農業者と漁業者が協働して実施する「ため池・里海交流保全活動」を推進することで、ため池の適正管理と栄養塩供給による豊かな里海の再生促進を目指しています。このような活動の輪が広がることで、海や沿岸漁業の現状を多くの方に知ってもらい、より広い範囲で様々な取り組みが行われることを期待しています。

1月17日（土）、洲本市五色町鳥飼にある井手池で、「かいぼり」が行われました。かいぼりとは、ため池に堆積した泥や腐葉土を流し出す作業のことで、ため池の機能を維持するだけでなく、泥に含まれる有機物が海へ運ばれることで、沿岸域に栄養塩が供給され、海が豊かになることが期待されています。

当日はJF五色町の漁業者、井手池を利用している農業者、関係機関職員に加え、昨年に引き続き洲本市の域学連携事業に参加している龍谷大学の大学生も約20名が参加し、昨年を上回る人数での作業となりました。昨年かいぼりを行ったためか、重機が入りやすくなっており、かなりの泥を掘り返すことができました。しかしその泥を流すのが大変、大学生達は重い泥で足が抜けなくなったり、水が顔にかかったり、大きな力エールが出てきたり…と、終始苦戦していました。が、トラブルもなく無事作業を終えることができました。作業後には熱々の鍋が振る舞われ、冷え切った体にホッと一息。JF五色町の播磨孝次組合長は「昨年のか



## 豊かな海へ希望をつなぐ「かいぼり」

### 泥底に足を取られながら学生ら大活躍

#### (一財)兵庫県水産振興基金

ノリの色落ちを何とか食い止めたい。明石市漁連（山本章等会長・JF西二見組合長）所属の5組合の組合長らは1月25日、明石市二見町の通称二見新池で「かいぼり」を行いました。この1週間前には洲本市五色町「井手池」でもかいぼりが行われており、漁業者の活躍が目立ちます。

当日は晴天に恵まれ、漁協や水利組合の関係者、明石高専の学生、県・市職員ら約60人が参加しました。新池の水（約2,600m<sup>3</sup>）が抜かれると、先ず、高専の学生らが泥底に足を取られながら鯉や鮒、鰻などを捕まえました。そのあと消防用ポンプを利用し、池底の泥をかき混ぜながら栄養豊かな水は瀬戸川へ放流されました。新池から海まで直線距離で約2km、河口からはノリ漁場も近く、かいぼりによる栄養供給に期待が高まっています。

本県のため池数は約43,000ヶ所です。ため池は、農業用水の確保だけでなく、洪水調整機能、自然環境・景観の形成、文化資源、地域交流の場、レクリエーション空間など様々な機能を有し、また、鯉の簡易養殖場に利用されるなど農業者が大切に守ってきたもので、かいぼり（池干し）は恒例行事とされてきました。しかし、農業人口の減少や高齢化、周辺地域の都市化等々で近年はかいぼりの頻度が落ちており、富栄養で水質が悪化し周辺住宅に悪臭が及ぶ、あるいは外来種生物が駆除されず固有の生態系破壊が進む、また、海域へ栄養供給路が絶たれるなど影響は計り知れません。

そこで淡路、播磨地域の漁業者が「かいぼり」応援に立ち上がりました。特に、当地域では「いなみ野ため池ミュージアム」を中核に様々な団体が活動しており、今回は明石高専から男女学生15人や和亀保護の会のメンバーらと漁業者が共に力を出し合いました。なお、この日は鯉など約100kgとともに、生態系の破壊者で、攻撃性が強く駆除対象の外来種ミシシippアカカミミガメも捕獲されました。専門家によれば、この亀は汚染に強く、攻撃性が高く、周辺のため池や瀬戸川でかなり繁殖しており、クサガメ、イシガメなど外来種の減少が危惧されることでした。



## 映画「種まく旅人 くにうみの郷」が完成!

淡路島内で行われている“かいぼり”を題材にした映画「種まく旅人 くにうみの郷」が完成し、12月19日（金）には試写会が洲本市で行われました。試写会に参加した関係者からは「かいぼりなど豊かな海を目ざす兵庫の取組みがしっかり描かれている」、「ノリの生産について非常に分かりやすい」といった感想が聞かれました。

撮影は昨年2月に淡路島で行われ、かいぼり作業にはエキストラとして地元漁業者や農業者が出演するなど、JF森（森 義政組合長）をはじめ、農林水産業に携わる多くの方々が協力しています。

公開は2015年5月30日より、全国ロードショーとなります。是非、ご覧ください。



主演の栗山千明さん  
©2015「種まく旅人 くにうみの郷」製作委員会

### ストーリー

物語の舞台は、国生みの郷、淡路島。

「頭でっかちなお前は、もっと日本の第一次産業の現状を知らなければダメだ」— アメリカ帰りの農林水産省官僚神野恵子（じんのけいこ）は地域調査官として淡路島にやってきた。目的は日本の現状を知る事。

淡路島市役所に席をおきながら視察に赴く恵子を胡散臭さととまどいをもって受け入れていた。そんな中、玉ねぎ作りにいそしむ農業従事者、豊島岳志（とよしまたけし）、そしてその弟、海苔と共に生きる漁業者、豊島渉（とよしまわたる）に出会う。彼らは父の死をきっかけに何年も仲違いの態を続けていた。

二人との出会いをきっかけに恵子は少しずつ自らのミッションを切り開いていくが…。

### キャスト・スタッフ

出演：栗山千明 桐谷健太 三浦貴大 豊原功補  
監督：篠原哲雄 脚本：江良 至 山室有紀子

特別協賛：イオン株式会社 タキイ種苗株式会社  
ヤンマー株式会社 株式会社ホームクオリティ  
淡路信用金庫 株式会社 森長組  
株式会社福利厚生支援会 ハウス食品株式会社

Special Thanks：農林水産省  
制作プロダクション：松竹撮影所  
製作：映画「種まく旅人 くにうみの郷」製作委員会  
配給：松竹(株) 宣伝：松竹(株)メディア事業部  
www.tanemaku.jp



**2015年5月30日より  
全国ロードショー**

©2015「種まく旅人 くにうみの郷」製作委員会





## 3大学との 消費流通検討交流会を開催

摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会



各テーブルで部員が指導しました

摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会(大西 正起会長・JF伊保)は、関西学院大学をはじめとした県内の大学と交流を深め、水産物のPRや漁業の現状、環境について情報発信を行っています。

昨年12月20日(土)には、水産会館において甲南大学、甲南女子大学、神戸薬科大学の学生ら約25名を対象に消費流通検討交流会を開催し、調理実習のほか、漁業の現状や、瀬戸内海環境再生の取り組みなどの話を通して交流を深めました。

調理実習「漁師直伝!瀬戸内海のおいしい魚の食べ方」では、事務局がスズキの3枚おろしの実演を行っ



昼食前の記念撮影

た後、参加者は「アカシタピラメのソテー香草パン粉がけ」と「カキときのこのソテー」を作りました。中には包丁を初めて使う方もいました。中では全員無事に完成させました。この後、参加者は漁業者と一緒に、出来た料理を食べながら話をしたほか、JF兵庫漁連広報部 西本 広幸 主任から兵庫の漁業に関する説明がありました。意見交換では「魚は苦手だったがおしく食べるのが出来た」、「今日学んだことを今後PRしていきたい」などの感想のほか、参加した大学関係者から「大学食堂でのメニュー化を進めたい」といった声も上がるなど、有意義な会となりました。

上ヶ原キャンパス PAPA食堂・MAMA食堂にて開催  
摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会さんのコラボ企画です

関西学院大学生協の協力で購入しているLOVE SEA丼。その第8弾が、1月14日から3日間限定で提供されました。14・15日は「カキ天卵あんかけ丼」、16日は「カキフライタルタル丼」とし、食材はJF室津の力キを使用しました。どの丼も、3日間ともに完売する人気ぶりでした。



今月の  
LOVE SEA丼

摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会

**水産多面的機能発揮対策事業**

**JF全漁連 先進・優良事例報告会開く**

(一財)兵庫県水産振興基金

水産多面的機能発揮対策報告会が1月23日(金)、東京の有楽町朝日ホールで開かれ、全国の漁業関係者ら約500人が参加しました。この報告会は、水産庁が平成25年度から実施している「水産多面的機能発揮対策事業」に基づき誕生した全国48都道府県900を超える活動グループの中から、先進的、優良な取り組みがある活動組織を選定し、その年度の活動の成果や課題など報告を行い他の活動組織の参考に資するというもので、主催はJF全漁連、全国内水面漁連です。

報告会には、パルシステム生協連(本部・東京、加盟10生協、加盟組合員約130万人)の澁澤温之商品開発本部長が講演され、生産者と消費者を結び立場から産直のあり方、海の環境を保全し水産物の持続的な利用を実現するための取り組みなど、様々な事例を交えて紹介。そして「食糧が自給できる国を目指す運動の継続や、水産物を食べることで資源や食文化、水産業を守っていききたい」と決意の言葉で締めくくられました。このあと、北海道から長崎県の8活動組織から、藻場・干潟の再生や漁村文化の伝承、地域全体で取り組む海難救助訓練など活動報告があり、コメンテーターや参加者から質問、意見など活発な情報交換が行われました。ま



た、会場ロビーで全国16道府県23グループのポスター展示活動報告も行われました。なお、本事業は来年が3年目の節目にあたるが事業継続に財務省のハードルが高く、水産庁、JF全漁連は「継続して活動することが重要だ」として根強く要求活動を続けられ、大臣復活折衝で2割程度の削減に落ち着いたとのことで、JF全漁連の大森敏弘常務は挨拶で「全国で元気に適切に活動していくことが事業継続に繋がる」と実効ある活動を呼びかけられました。

**平成27年度 兵庫県漁村子弟育英生募集!!**

(一財)兵庫県水産振興基金

(一財)兵庫県水産振興基金では平成27年度育英生を次のとおり募集します。

**1 応募資格**

- ① 県下の漁業協同組合又は水産系統団体に所属する組合員又は職員の「子弟」及び「遺族」であり、高校又は大学等に在学(入学予定を含む)し、所属漁協・団体の長が育英生として適当と認めた者
- ② ただし、日本学生支援機構等から奨学金を受けている者は、本基金の育英生になることができません。

**2 貸与金の額**

学 別	貸与月額	
大 学 生	25,000円	
高校生	寄宿生	25,000円
	通学生	20,000円

**3 申込方法**

所属漁協を通じて「漁村子弟育英生申出票」、「貸与申込書及び添付書類」を提出してください。

提出期日	漁村子弟育英生申出票	平成27年3月31日(火)
	貸与申込書及び添付書類	平成27年4月30日(木)

**4 育英生の採用決定**

本基金選考基準により審査のうえ採否を決定し、6月中旬頃に所属漁協を通じて連絡します。

**5 育英資金の貸与方法**

所属漁協を通じて、前期分・後期分をまとめてそれぞれ4月・10月に貸与します。(なお、初年度前期分は7月に貸与)

**6 貸与金の返還方法**

- ① 貸与金は無利息とし、貸与期間終了(卒業)後、1年間据え置き2年目から返還していただきます。
- ② 返還期間は、貸与金額に応じて返還開始から5~10年間です。

**7 その他**

漁船海難遺児に対しては、本基金の事業とは別に、兵庫県漁業協同組合連合会が事務局となって取り扱っている有利な育英制度がありますのでご留意ください。

# 平成26年度 「ひょうご海の子作品展」 作文部門 受賞者決定!!

JF兵庫漁連とJF兵庫女性連は、輝く未来を担う小中学生に、海を愛し、美しく豊かな海を守ることの大切さと漁業に親しむ心を育ててもらうため、「ひょうご海の子作品」(絵画・作文)を県下の小中学生を対象に募集したところ、絵画部門1,283点、作文部門61点の応募がありました。

昨年12月16日に絵画部門、1月28日には作文部門の最終審査会を行い、受賞作品が決定しましたので、その一部をご紹介します。

(絵画部門は16ページに掲載しています。)

## 【作文部門】

(敬称略)

賞名	学校名	学年	氏名	題名
兵庫県知事賞	淡路市立学習小学校	5	武田 一花	淡路島の海が大好き
兵庫県教育長賞	洲本市立由良中学校	1	中山 亜依	みんなの海
JF兵庫漁連会長賞	加古川市立両荘中学校	1	清水あすか	「海」
	淡路市立学習小学校	5	藤岡 敬大	海の資げんを大切に
JF兵庫女性連会長賞	淡路市立石屋小学校	4	新居 春奈	魚がすみやすい海作り
	淡路市立学習小学校	5	中尾 胡春	EMだんご体験
JF兵庫信漁連会長賞	淡路市立学習小学校	5	葛原 充和	海の生き物
	南あわじ市立辰美小学校	6	堀 琉望	漁師と民宿
農林中央金庫大阪支店長賞	淡路市立学習小学校	5	笹本 広大	東うらの海
	淡路市立学習小学校	5	大上 晴土	最高のぜいたく

※紙面の都合上、佳作は紹介しておりません。

○JF兵庫漁連HPで、兵庫県知事賞と兵庫県教育長賞の作文を掲載中!

○2月下旬頃に、全受賞作品(20作品)を掲載した「ひょうご海の子作文集」を発刊予定です。

### <兵庫県知事賞>

#### 淡路島の海が大好き

淡路市立学習小学校 5年 武田 一花

わたしが住んでいる淡路島は、周りが海に囲まれているとても美しい島です。わたしは淡路島の海が大好きです。晴れた日には、太陽の光が海に反射してキラキラとかがやいています。

でも、そんな美しい海でも見るのがいやになることがあります。それは、赤しおが発生した時です。なぜ赤しおが発生するのか調べてみることにしました。

赤しおは、プランクトンが大量に発生して水の色が赤茶色に変わってしまうことです。それによって、水中の酸素が少なくなると魚が死んでしまうこともあります。

赤しおが発生する原因は、家庭から出る生活排水の水や、農地で使われる化学肥料などが海に流れることも関係しています。

陸地に住むわたしたち人間の活動が、海のかんきょうを悪くしてしまっているのです。

わたしが海を好きな理由は、もう一つあります。それは、海でとれる魚が大好きだからです。

わたしのおじいちゃんとおばあちゃんは、水産加工の仕事をしています。漁師さんがとってきた、ちりめんやいかなごをほしたり、くぎにしたりして市場に出荷する仕事です。とくにおばあちゃんの作るくぎに大好きです。つやつやと照りがあって、あまくて、かめばかむほど魚の味がしてとてもおいしいからです。

でも、ちりめんやいかなごがとれる量も年々減っているそうです。うめ立てなどによって、海の生き物の住む場所が失われていることや地球温暖化などがえいきょうしているのかなと思います。

漁師さんも海底のごみをとったり、魚の住む場所を作ったりしているそうです。わたしにできることは何かあるかなと考えてみました。ごみをすてないこと、捨てること、できるだけ水をよさないこと。小さなことではあるけれどひとりひとりの心がけが大切だと思います。

ごみをすてたりせずにして、魚が今よりもっと多くとれて、今より美しい海になってほしいです。

# 税務署からのお知らせ

平成26年分

## 確定申告

申告書の作成は  
国税庁ホームページが  
おすすめ

確定申告 検索

Step1 国税庁ホームページで申告書を作成

Step2

ネットを使って  
e-Taxへ送信

印刷して送付

国税庁ホームページ

e-Taxのメリット  
24時間受付  
添付書類の提出記録  
送付がスピーディー

パソコン 電子証明書 ICカードリーダ  
を準備してネットで申告

国税庁ホームページ

e-Taxのメリット  
24時間受付  
添付書類の提出記録  
送付がスピーディー

## 申告と納税

所得税 および 復興特別所得税  
贈与税

平成27年  
3月16日(月) まで

所得税 および 復興特別所得税の確定申告の窓口での  
相談・申告書の受付は、2月16日(月)からです。

消費税 および 地方消費税  
(個人事業者)

平成27年  
3月31日(火) まで

平成25年分から平成49年分まで、復興特別  
所得税(原則として各年分の所得税額の2.1%)  
を所得税と併せて申告・納付することとされ  
ています。確定申告書の作成に当たっては、  
「復興特別所得税額」の記載漏れのないよう  
ご注意ください。

(注) 住居カードに搭載された電子証明書は、社会保障・税番号制度の導入に伴い、平成28年1月以降に申請・交付が開始される「個人番号カード」に搭載されます。

- 消費税の申告について  
消費税(地方消費税を含む。)の税率は、平成26年4月1日から8% (※) です。  
平成26年分の消費税及び地方消費税の確定申告書は、課税取引を旧税率が適用されたものと新税率が適用されたもの  
とに区分した帳簿等に基づき作成する必要があります。  
※ 平成26年4月1日以後に行われる取引であっても、経過措置により旧税率が適用される場合があります。
- 贈与税の申告書の作成は「国税庁ホームページ」が便利!  
贈与税の申告書は国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で作成し、e-Tax(イータックス)で送信でき  
ます。作成した申告書などは、印刷して郵送等で提出することもできます。
- 振替納税をご利用の方の振替日は、次のとおりです。  
申告所得税及び復興特別所得税……………平成27年4月20日(月)  
消費税及び地方消費税(個人事業者) ……平成27年4月23日(木)
- 平成26年1月から記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大  
個人の白色申告の方で事業や不動産貸付等を行う全ての方は、平成26年1月から記帳と帳簿書類の保存が必要になり  
ました。
- 「国外財産調書」の提出について  
居住者(非永住者の方を除きます。)の方で、その年の12月31日において、その価額の合計額が5千万円を超える国外財  
産を有する方は、その国外財産の種類、数量及び価額その他必要な事項を記載した「国外財産調書」を、その年の翌年  
の3月15日までに提出しなければなりません。  
※ その年の翌年3月15日が、日曜日に当たるときはその翌日、土曜日に当たるときはその翌々日までに提出しなければ  
なりません。

税に関する情報は 国税庁ホームページ (www.nta.go.jp)

国

税

庁

検

索

e-Taxに関する情報は e-Taxホームページ (www.e-tax.nta.go.jp)

イー

タ

ク

ス

検

索

# REPORT 各団体からの報告

## 海技大学校で安全講習会 淡路地区の各JF青壮年部が参加

JF兵庫漁連

大型船の操船シミュレーターを用い、大型船の動力性能を体験するとともに、心肺蘇生術について学ぶ研修会が1月27日（火）、独立行政法人海技教育機構 海技大学校（芦屋市）で行われ、淡路地区の各JF青壮年部や関係者ら約30人が参加しました。

まず、同校航海科 岩瀬 潔教授から「最近の小型漁船の海難事故から」と題して、海難事故の傾向と事故事例の紹介があり、続いて神戸運輸監理部 筒井 宣利調整官から「危険認知能力開発訓練」として、漁業者が撮影した普段の船上や操業時の写真を用いて、起こりうる危険を参加者自らの経験から予知する訓練を行いました。シミュレーター室では、朝、夕、夜間、雨、霧など様々な条件で大型船の

実際に動かすと、操船の難しさが良く判ります



実際に動かすと、操船の難しさが良く判ります



胸骨圧迫は「強く、早く、絶え間なく」が基本

操船を行いました。参加者からは「大型船はすぐには進路を変えられないし止まることもできない」との感想があり、大型船の動力性能を実感できたようでした。

さらに同校航海科 濱田 聡樹助手の指導により、訓練用の人形を用いた CPR（胸骨圧迫・人工呼吸）や AED の使用について救命講習を行いました。胸骨圧迫の力加減を示すインジケーターが付いた人形であったため、体験した漁業者はその目盛を見ながら、力の入れ方を確認でき、分かりやすいと好評でした。

# 海難事故をなくそう！

## ライフジャケットを着よう！

動きやすいライフジャケットもあります！  
一人で小型漁船に乗船し、漁ろうをする場合は、ライフジャケットの着用が義務付けられています。



固型式ライフジャケット  
モデル：JF一宮町  
社領 弘  
代表理事組合長

## ～安全をサポート～ 浮力合羽はお持ちですか？

JF兵庫漁連が開発したもので、浮力は十分あります。  
※ライフジャケットではありませんので、一人乗りの漁船の場合、ライフジャケットを着用してください。



**是非、試して下さい**

モデル：JF兵庫漁連 中谷 明泰 淡路事業所長

ライフジャケット・浮力合羽の購入は  
所属JFかJF兵庫漁連資材部（078-942-9272）までお問い合わせください

## 農産物直売所『かさい愛菜館』 でイチゴの試食会を開催

JA兵庫みらい加西市いちご部会は1月7日(水)、同JA農産物直売所『かさい愛菜館』でイチゴの試食会を開きました。同直売所は、この日が新年の営業始め。訪れた多くの買い物客らが、試食コーナーに並べられた「さがほのか」「紅ほっぺ」「とちおとめ」「根日女の恋詩(さちのか)」の4品種を手に取り、豊かな味わいに舌鼓を打ちました。

今回で10回目となるこの試食会は、市内の農家5軒でつくる同部会が毎年開催。寒暖の差が大きい加西の風土を生かして栽培されたイチゴの消費の拡大を図り、ファンを増やそうと行っています。

試食コーナーでは、生産者らが朝に収穫したばかりの新鮮なイチゴを用意し、来店者に品種やそれぞれの特徴などを紹介しながら加西産のイチゴをPRしました。また、イチゴを使ったマフィンや大福などのお菓子のレシピも一緒に配布し、好評でした。

来店者は「4品種とも甘くておいしかったが、食べ比べをしてみると味の違いがよく分かりました。気に入った品種のイチゴを買って帰りたいです」と笑顔で話していました。

同部会の岡本敏晴部会長は「この試食会が加西産イチゴのおいしさを知るきっかけになればと思います。熟すまで

しっかり待って甘さと酸味のバランスが取れたイチゴを多くの消費者に届けたいです」と話していました。

出荷は4月まで続き、同直売所などで販売しています。

◀イチゴをおいしそうに味わう来店者



▲生産者に特徴を説明する岡本敏晴部会長(左)

## 消費者市民社会づくりと 消費者教育の充実強化をめざして

～第26回近畿地区生協・行政合同会議～

テーマ：「地域・行政とのネットワークでくらしの安心づくり」

昨年11月、「第26回近畿地区生協・行政合同会議」が福井商工会議所 コンベンションホール(福井県福井市)にて開催され、兵庫県生協連から2名が参加しました。この会議は、福井・滋賀・奈良・和歌山・兵庫・京都・大阪の近畿2府5県の府県連生協連で構成する「近畿地区生協府県連協議会」の主催により開催。地域住民の安全・安心な暮らしを支えるために、生協と行政のパートナーシップを深めることを目的とし、今回で26回目を迎えました。当日は、厚生労働省近畿厚生局健康福祉部をはじめ、日本生協連、近畿地区2府5県の生協行政担当者および生協連役員職員の計42名が参加。全国の生協の概況、東日本大震災被災地支援の状況報告も行われました。

また、「みんなでづくり、動かす、消費者市民社会」をテーマに弁護士 島田 広氏が特別報告。「消費者市民社会とは、消費者自身が主役となる社会のこと。自分が単なる商品やサービスの受け手ではなく、社会、経済、環境を公正で持続可能なものに変える力を持ち、その役割を担っている存在だと知ること、主体的・能動的に行動できる消費者のこと」「消費者市民社会のキーワードは“伝えあい、つながる地域・社会づくり”」などの報告がありました。引き続き、「京都府における消費者教育の取り組み」、「大学生によるくらしのヤングクリエイターの取り組みについて」、「おいしいふくい食べきり運動」、「消費者支援機構関西KC'sの活動報告～集団的消費者被害救済制度の動向」などのテーマに沿った報告が行われ、次世代の活動が多彩に行われている現状を共有しました。その後、開催された懇親会では情報交換を含め、貴重な交流の場となりました。





# 旬に想う

写真と文  
遊方子

## テオプロマ・カカオ

◆ チョコレートの濃厚な甘さには、不思議な魅力がある。ひと口食べると口中に広がる香りか、何とも幸せな気分にして呉れる。誰もが好む代表的な菓子だろうが、その原料のカカオについては余り馴染みがない。生産地が限られた熱帯域であり、植物園でも果実を付けた様子を見る事は非常に稀なためである。アオギリ科の常緑小高木。リンネが名付けた学名はテオプロマ・カカオである。年平均気温が約27度で、年間の降雨量が千ミリ以上ないと生育できない繊細な木なのだ。幹に直接、淡いピンクや黄や白色の花をつけ、カカオ・ポッドと呼ぶ果実が成る。白い果肉に包まれた豆が30〜40粒、それを取り出し4.5日発酵させると独特の香りが生まれる。そして天日乾燥した豆は農家の収入源となる。

◆ 古代メキシコのアステカ族は、カカオとトウモロコシを砕いて、バナナや香辛料を加え、チョコラトルと称する「神聖な飲み物」を嗜んだ。「一杯飲むだけで、何も食べずに一日中歩ける」という薬用効果の高い飲み物で、此れがスペイン人によりヨーロッパへ伝えられ、19世紀には飲み易くした「ココア」が考案された。当初、このドロリとした飲みものは、王侯貴族が愛飲する高級品だったが、やがて庶民の嗜好品として広がる。ココア製造で出るココアバターに砂糖や粉乳・香料などを混ぜて練りあげ、固めたものがチョコレートである。

◆ 明治11年発行の新聞に、東京両国の米津風月堂でチョコレート初めて加工・製造・販売したという記事があり、「貯古輪糖」と漢字を充てた広告も出ている。江戸時代に長崎の遊女が、オランダ人からチョコレートを貰った記録があるそうだが、時期についてははっきりしない。初めてチョコに接したのは明治六年遣欧使節として渡欧の岩倉具視一行だという。国産第一号のチョコレートは、大正七年に森永商店が作った。高価な贅沢品として、庶民には高嶺の花だった。

◆ チョコレートの主原料はカカオマス、ココアバター、砂糖とミルクである。ホワイトチョコはカカオマスを使わないため色が白いのが特徴で、独特の苦みが無くてミルク味になっている。遭難した登山家がチョコと水だけで飢えを凌ぎ、六日後に救出されたという話や、フランスのアルル地方では百十二歳の最高齢でチョコ好きの婦人が、長寿の秘訣として一週間に2ポンド(約九百グラム)のチョコを食べていたという。チョコレートは宣伝向けに格好な挿話が沢山あり、エネルギー源として優れた者と実証されている。バレンタインデーには菓子舗に山積みされたチョコを、恋の取持ち品(?)にと、多くの人が買って行く。

## 大輪田塾だより

### 漁港と兵庫県の水産業について



漁港について話された山内主幹

近いうちに発生するとされる南海地震への対応などについてしっかりと学ぶことが出来ました。

また「兵庫県の水産業の概要と主な振興施策」では兵庫県立水産技術センター 山村雅雄所長が講義を行いました。兵庫県の漁業の特色から、現在行われている漁場整備や海域環境保全、消費拡大、技術開発など幅広い内容で講義がなされ、どちらも講義後に多くの質問が塾生から出されました。



山村所長による講義

1月の大輪田塾は20日(火)に「漁港について」と「兵庫県の水産業の概要と主な振興施策」の2課題を開講しました。「漁港について」は県漁港課漁港整備班 山内 斉主幹が講義を行いました。県内の漁港の数や種類、

# 平成26年度「ひょうご海の子作品展」 絵画部門 受賞者決定!!

11ページに掲載しています「ひょうご海の子作品」の絵画部門で入選した絵画の中から、兵庫県知事賞と兵庫県教育長賞の2点をご紹介します。

## 【絵画部門】

賞名	学校名	学年	氏名	題名 (敬称略)
兵庫県知事賞	南あわじ市立北阿万小学校	4	松原 茜	きれいな海 もぐりたいな
兵庫県教育長賞	洲本市立洲本第一小学校	1	山岡 和生	うみのさかなたち
JF兵庫漁連会長賞	南あわじ市立北阿万小学校	4	中野 喬佳	兵庫の海の宝
	南あわじ市立広田小学校	5	船城なつき	さぁ今から出港だ!!
JF兵庫女性連会長賞	南あわじ市立広田小学校	2	船城めい子	今日は大漁
	神戸市立糀台小学校	3	仲 心菜都	ゆめの中の魚たち
JF兵庫信漁連会長賞	南あわじ市立広田小学校	2	杉谷 怜哉	タコがすみをだした!!
	神戸市立糀台小学校	4	中川 裕貴	未来の海中トンネル
農林中央金庫大阪支店長賞	洲本市立洲本第一小学校	1	仲野 允人	うみのなかまたち
	新温泉町立浜坂東小学校	2	上原 映	魚といっしょにおよごう

※紙面の都合上、佳作は紹介しておりません。

- 平成27年2月5日～平成27年3月末日(土日祝日を除く) 9:00～17:30の間、兵庫県水産会館1階で受賞作品の展示会を開催中! 近くへお越しの際は一度見学してみてください!
- JF兵庫漁連HPでも受賞作品を掲載中! (<http://www.seat-sakana.net/>)



### <兵庫県知事賞>

#### きれいな海 もぐりたいな

南あわじ市立北阿万小学校 4年 松原 茜

#### ● 講評

海に潜って何を探しているのでしょうか。何かを発見した表情や体の動きが非常に面白いです。髪の毛の動きも見逃さず、海中での細かな動きをしっかりと表すことができました。また、通り過ぎる魚たち、それだけでなく、左下にはその様子をじっと見つめる魚を巧みに斜めに配しています。さらに筆先を使ったていねいなタッチで海水を表すなど、細部にまで心を配った、映画の1シーンのような作品になっています。



### <兵庫県教育長賞>

#### うみのさかなたち

洲本市立洲本第一小学校 1年 山岡 和生

#### ● 講評

山岡さんの素直で明るい海に対する気持ちを端的に表しています。海の中の生き物の様子や釣りや漁をする人をカラフルな色合いでまとめることができました。絵の具やクレヨンパステルなどを巧みに使い分け、さらに、細かくていねいな絵の具でのタッチを利用して、海水の変化をつけています。その結果、見る人がいつまでも楽しく美しい海であってほしいという気持ちが生まれてくるような作品に仕上がっています。